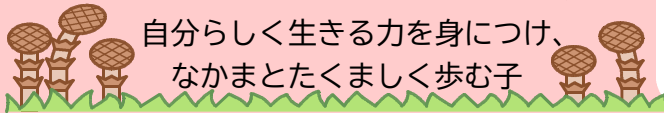




# TOGO! だより



福井市東郷小学校 学校だより  
令和4年9月15日 第19号  
TEL 41-0003 FAX 41-0974  
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

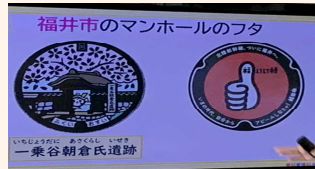
## 9/8(木) 4年生キャリア教育「下水道出前授業」

福井市キャリア教育プログラムを活用し「下水道出前授業」を活用したところ、福井維持建設協同組合様のご紹介で、なんと東京の港区にある管路管理総合研究所から、講師として水谷さん、福澤さんが本校に来てくださいました。

「下水道は何のためにあるのか」から始まり「日野浄化センターで、汚れた水がきれいな水に戻る道のり」「下水道を守るためにしていること」「下水道に流してはいけないもの」などについて、大変わかりやすく教えてくださいました。



パワーポイントを使った説明の中で、実際下水道内部の動画が見られたり、マンホールのふたに関するクイズがあったり、最後はティッシュとトイレットペーパーを水に入れるとどうなるかの実験をしたりと、私も最後まで参観しましたが、児童を引き込む内容の素晴らしさや、講師方の提示の仕方の工夫(話し方やジェスチャーも含めて)に、本当に感心させられました。4年生は、最後まで集中して参加し、土の中に埋まっいて普段は見えない下水道のことについて、たくさんの学びを得た出前授業となりました。



<4年生感想より(一部省略)>

- ・社会の授業で、下水道のことを全部知ったつもりだったけど、もっと知ることがあってびっくりしました。分かりやすかったし、実験も楽しくてよかったです。下水道についてもっとよく知ろうと思います。(Oさん)
- ・ぼくが心に残ったことは2つあります。まず、トイレットペーパーとティッシュの実験です。同じ紙でも様々な工夫があるんだと思いました。もう一つは下水管の大きさ(直径)の違いです。小さいので20センチ、大きいのでは10メートルをこえると知ってびっくりしました。もっと下水道のいろいろな工夫を知りたいと思いました。(Hさん)

<クイズ 他の学年のみなさん、分かるかな? >



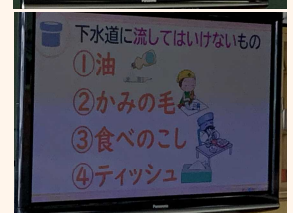
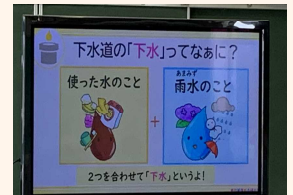
Q1:「下水道の下水とは、何でしょう」

Q2:「マンホールのふたになっていないものは、次のどれ?」

- ①一乗谷朝倉氏遺跡 ②鬼滅の刃 ③ちびまる子ちゃん ④ももたろう

Q3:「下水道に流してはいけないものは、何でしょう」

※答えは4年生に聞くか、このお便りのどこかを探してみてくださいね。



## 「週案」について、お話しします。



「週案」とは、今週の授業(教育活動全体)について、前の週のうちに計画(段取り)を立てるノートのことです。これを書くことで、これまでの活動を振り返り、今後の見通しをもつことができます。「案」ですので、計画通りに実施できなかった時は、予定の見直しを図るためにも使います。授業の内容はもちろん、今後の行事(今ですと校内体育大会ですね)のために決めておかななくてはいけないことや、保護者に配布するお便りのこと、テストの進捗状況など、実に様々なことが書かれています。毎週月曜日の朝に提出してもらうこの週案、教員によっても特徴があり、校長の私は毎回楽しみに、でも真剣に見ています。私は、この週案をもとに、その日に参観したい授業を決めてメモし、教室に足を運んでいます。

空いているスペースにたくさん書き込みがしてありますが、これは職員とのやりとりが書いてあります。分かりやすくいうと、交換日記のようなものです。ほんの一例ですが紹介します。

<職員から>先週、特別支援教育センターの先生から「いろいろな小学校を参観していると、授業中姿勢保持が難しい子や、45分集中するのが難しい子が多くなっている印象を受けます」とのお話を聞きました。高学年部会では「ICTの活用等、様々な支援を取り入れる中で、子どもたちの本来もっている能力を失わせないようにもしなくては」という意見も出たそうです。子どもたちに適度なチャレンジを促す支援も考えていかないと、と思いました。

<校長から>忍耐力や我慢強さなど、ここはぜひチャレンジさせたいと思う場面で、今のうちからつけておくことは必要ですね。また、我々大人の忍耐も必要。「子どもに考えさせる、やらせてみる」ことは、実は大人の都合で左右されがちです。こちらが忍耐強くして、子どもがあせらずできるまで見守ること。これも本当に大事ですね。

上は結構真面目な内容ですが、もっとやわらかいやりとりもあります。職員と、その時思っていることを気兼ねなく伝え合えるこの週案を、私は大事にしています。



## 9/5(月)、6(火) 公立図書館司書によるブックトーク 1~4年生

前回お伝えした5、6年生に続き、今度は桜木図書館の司書さんによるブックトークが行われました。3、4年生は「動物」、1、2年生は「目、耳、鼻、口、髪の毛」をテーマにした本の紹介でした。

<ブックトーク後の児童感想より>

- ・動物も人間と一緒に色を見分けられると思っていたけど、動物によって色の見え方や角度も違うなんて知らなかったので、勉強になりました。また、世界の人の鼻の高さも、みんな一緒だと思っていました。(4年 Iさん)
- ・ほり内さんに本を読んでいただいて、本当に楽しかったです。特に一番おもしろそうだったのは、『動物の知っている世界』です。今日、読んでみようと思います。ほかの本も読みたいです。本当に本当に楽しかったです。(3年 Tさん)
- ・『はがぬけたらどうするの?せかいのこどもたちのはなし』を読んでみたいと思いました。どうしてかという、日本のことも見たいですが、せかいの子どもたちは歯がぬけたらどうするのかが気になるからです。『ものぐさトミー』もおもしろかったです。さくらぎとしょかんに行ったら、いろんな本を読んでみたいです。(2年 Aさん)
- ・『ライオンのレストラン』のつづきをよんでみたいとおもいました。えほんをよんでもらうのが、まちきれませんでした。ほんをよんでもらうと、どきどきしました。(1ねん Sさん)

